



11月の聖句『喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。』
(ローマの信徒への手紙12:15)

クリスマスにむけて

『主は私の羊飼い。』詩編23:1 (聖書協会共同訳)

牧羊遊牧文化のベトウェインの少女の羊飼いが、あるドキュメンタリーで言っていました。「わたしの羊の顔はすべてわかります」。少なくとも百頭を越える羊を前に。そして、一頭、一頭に名をつけることを誇らしげに語っていました。

外敵から守る能力の低い羊は、とりわけ視力が弱く、寒さに弱い動物だそうです。羊飼いに養われ、守られて、羊たちは群れをなしつつ導かれて生活します。

聖書も、その牧羊遊牧文化を共有しています。イエスさまも、たびたび、羊をたとえに用い神さまのいくしを語り、(ルカ 15:1-7)、自らを「私は良い羊飼いである」(ヨハネ 10:11)と宣言されました。

この一年をふりかえります。聖十字幼稚園のすべての関係者に神さまのお導き、お守りをさらに祈りつつ。

チャプレン 司祭 いけだとおる

聖十字幼稚園のクリスマス

聖十字幼稚園はイングランド国教会が母体となる聖公会の教会の幼稚園です。最近ではエリザベス女王が亡くなったので、教会のようすが日本に伝わってきましたね。Xmasは特に派手な装飾はせず、貧困や病気で苦しむ人々への献金を大切にしています。

イエス・キリストが2000年前に何を守たない貧しい両親の子として馬小屋で生まれたことに意味があると考えるために。

困難の中にいる人たちのことを思ひ、

共に生きようと願うこと

クリスマスの本当の意味があります。



先週いっぱい、コロナのため完全休園。本当に迷惑をかけました。
今週もまだお休みが夕方。
保護者の皆さんも大変
お苦労されているのは
なってしまう。

コロナの猛威の中、準備が始まっています。

お休みは多いですか?

少しずつ、Xmasにむけて

各クラス練習がはじまっています。

まだ全体の

流れを確認

したり、立ち位置

を覚えたりして

いる段階ですが

みんなのやる気が

伝わってきました。



ほっこり、お部屋あそび

聖十字と言えば園庭のイチゴですが

先生方は子どもたちの脳や感覚を刺激する良いおもちゃ、美しいおもちゃを

いろいろと研究しています。

各クラスで好きなおもちゃに

深く集中して遊びが見られます。

マグフォーマー

パズルが

たくさんでよく元気張ったかわいい

サンタさん

保護者の方にたくさんの大きな

松ぼっくりは

雪化粧されて

雪だるまに変身

そして年長さんは

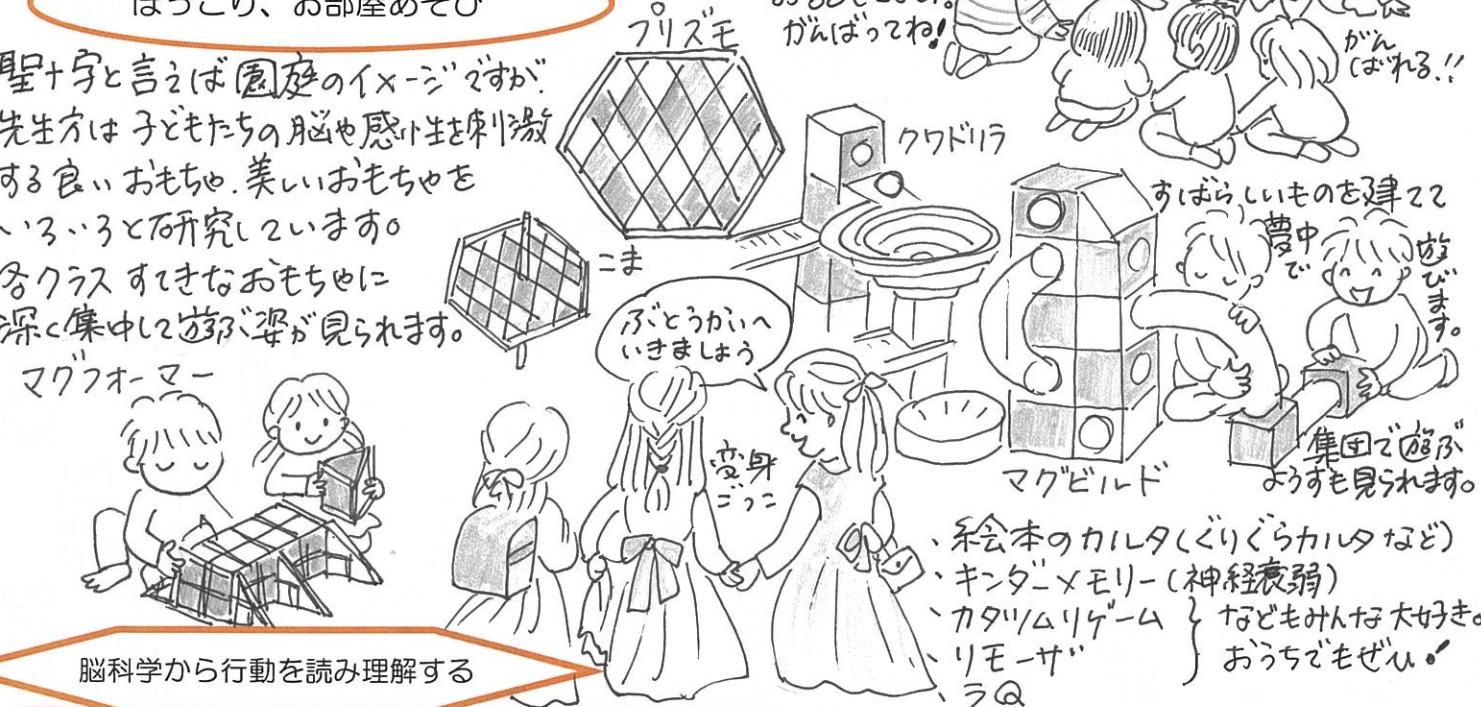
聖誕劇の

自分の役の

お人形さんがいた

すきな麻雀箱です!!

本番の日も全員こうができますように…!!



脳科学から行動を読み理解する

毎週金曜午前のNHKラジオで、人工知能研究者の黒川伊保子さんが、夫婦や親子や友人・職場などの人間関係の悩みを、脳の働きから理解して、改善策を語るコーナーがあり、ハマっています。らじるらじるで休みの日に「なるほど!」「あー、子育て中に知りたかったなー」なんて思いつつ聴いています。著書もたくさん。特に男性脳と女性脳の違い、子どもが生まれたときMAXに持っている「ミラーニューロン」と言語獲得のしくみ、自閉症の話は興味深かったです。自閉症は脳の認知スタイルの一種であって、アインシュタインやココ・シャネルなど天才たちの多くがこの脳の持ち主であり、しかもこの脳に欠けがちな社会適応力を早期にアシストして劇的に改善する方法があること(アメリカのESDMは2歳前に開始して5歳までに終了)など、自閉傾向に対する日本社会のマイナスイメージを払拭してくれる内容や、早期発見の必要性など、よりオープンに、社会全体が知った方が子どもの幸せに直結する、と感じさせる話がいっぱいです。